

人気と実力、さらには美しさを兼ねそろえたクラシック界を代表する3人の女神を一度に鑑賞できる贅沢な企画。彼女たちのスーパーテクニックが響く珠玉の名曲を、ぜひお楽しみください。



©大杉幸平

三ツ橋敬子 (指揮)

Keiko Mitsuhashi

東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。第10回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールにて女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。

09年にはNewsweek Japan誌にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出。2011年には、TBS系列ドキュメンタリー番組「情熱大陸」に取り上げられた。2016年から神奈川県立音楽堂にて「三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ!」がスタート。子供たちへ多彩な音楽体験を届ける企画内容が好評を得ている。



神尾真由子 (ヴァイオリン)

Mayuko Kamio

4歳よりヴァイオリンをはじめ。2007年第13回チャイコフスキー国際コンクール優勝。ニューヨーク・タイムズ紙でも「聴く者を魅了する若手演奏家」「輝くばかりの才能」と絶賛される。国内の主要オーケストラはもとより、ミュンヘン・フィル、イスラエル・フィル、チューリッヒ・トーンハレ管、BBC響、BBCフィルハーモニック、バイエルン州立歌劇場管、ブタペスト祝祭管、ワルシャワ国立フィルなどと共演。これまで里屋智佳子、小栗まち絵、工藤千博、原田幸一郎、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、ザハール・プロンの各氏に師事。大阪府知事賞、京都府知事賞、第13回出光音楽賞、文化庁長官表彰、ホテルオークラ音楽賞はじめ数々の賞を受賞している。



©Kiyotaka Salto

仲道 郁代 (ピアノ)

Ikuyo Nakamichi

第51回日本音楽コンクール第1位、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、エリザベト王妃国際音楽コンクール入賞。これまでに国内の主要オーケストラと共演する他、ピッツバーグ響、バイエルン放送響、フィルハーモニア管、ドイツ・カンマーフィルなど海外オーケストラとも多数共演。

CDは、レコード・アカデミー賞受賞CDを含む「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全集」等、高い評価を得ている。著書に「ピアニストはおもしろい」(春秋社)等がある。

2018年よりベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代Road to 2027プロジェクト」をスタートし、リサイタルシリーズを展開中。

一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。

オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>



©N.Ikegami

東京交響楽団

Tokyo Symphony Orchestra

音楽監督にジョナサン・ノット、正指揮者に飯森範親、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。サントリーホール、ミュンヘン・フィルハーモニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市、八王子市と提携し、アウトリーチ活動などを積極的に展開、また毎年新国立劇場のオペラ・バレエ公演を担当している。海外公演も多く、58都市で78公演を行ってきた。16年に創立70周年を記念しウィーン楽友協会を含むヨーロッパ5カ国で公演を、18年8月には上海・杭州にて日中平和友好条約締結40周年記念公演を行った。

オフィシャル・ホームページ：<http://tokyosymphony.jp/>